

大原野中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

※様式自由。「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の調和のとれた育成や、学校教育の重点で触れられている視点など、各中学校ブロックにおいて検討の上、地域の子どもの姿（現状と課題）から義務教育卒業時に目指す子ども像の実現に向けた小中一貫教育構想図を記載してください。

小中一貫教育構想図

令和3年度

大原野学園

教育目標

郷土愛を育み，確かな学力と豊かな人間性を育成する

小中一貫教育の創造

課題

- 自分でしっかりと判断しすすんで行動できるようにする
- 相手を受け入れたり思いやりたりできるようにする

現状

- 明るく素直である
- 熱心に取り組む
- 仲間と活発に活動できる

自ら課題を解決する姿勢と力

＜ 目指す子ども像 ＞

- ☆自主的，主体的に学習できる子ども
- ☆粘り強く，あきらめずに，協力して活動できる子ども
- ☆思いやりの心を持ち，人やものを大切にできる子ども

道徳教育

大原野中学校

『すべての教育活動を通して伝え合う力(コミュニケーション能力)と課題解決能力を向上し，たくましく未来を拓き，地域社会に貢献できる生徒を育成する』

＜ 目指す生徒像 ＞

- ◇他者の意見を傾聴し，自分の意見をわかりやすく伝えることができる生徒
- ◇最後まであきらめず，他者と協働して課題解決に取り組む生徒
- ◇課題解決で得た成功体験をもとに，自ら進んで次の課題に取り組む生徒
- ◇地域の良さに目を向け，学校で培った力を地域で発揮できる生徒

児童会・生徒会活動

自主的・社会的な生活態度
縦割りによる集団活動
地域貢献活動

大原野小学校

『自ら学び未来を創造する子の育成
～夢や希望をもって努力し自信をもって
学び続ける児童～』

＜ めざす子ども像 ＞

- ◇自ら学び粘り強く追究する子
- ◇自らを律しつつ思いやりの心をもった子
- ◇健康でたくましい子

上里小学校

『里に学び 里を愛し 里を創る
～次代と自らの未来を創造する子～』

＜ めざす子ども像 ＞

- ◇自ら考え，進んで表現し学び続ける子（確かな学力）
- ◇人を思いやり，自然と豊かにかかわる子（豊かな心）
- ◇心や体を鍛え，粘り強くやり通す子（健やかな体）

お互いを認め合い，思いやり，優しさにあふれる態度
主体的に活動する態度・地域を大切にする態度



軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つきたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）

道徳教育を軸とした取組・活動

義務教育卒業時につきたい力

お互いを認め合い，思いやり，優しさにあふれる態度

【小学校：親切，思いやり 相互理解，寛容】【中学校：思いやり，感謝 相互理解，寛容】

主体的に活動する態度

【小学校：希望と勇気，努力と強い意志】【中学校：希望と勇気，克己と強い意志】

地域を大切にする態度

【小学校：伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】【中学校：伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度】

学年または学年区分ごとにめざす姿

よいと思うことをすすんでこなう児童	友達と助け合い，よいと思うことを進んで行う児童	友達と互いに理解し，協力し助け合う児童	自分でやろうと決めたことは，粘り強くやり遂げる児童	いろいろな意見を受け入れるとともに自分の考えを相手に伝え，責任をもって行動する児童	身近な集団に進んで参加し，自分の役割を自覚し，協力して主体的に責任を果たす児童	対話を通して、自己を見つめ、ものごとを広い視野から多面的・多角的に考える生徒	他者と連携・協働しながら、ものごとを広い視野から多面的・多角的に考える生徒	自己に自信と誇りを持ち、よりよく生きるために主体的に行動し、自分の進路を切り拓く生徒
小１（１年）	小２（２年）	小３（３年）	小４（４年）	小５（５年）	小６（６年）	中１（７年）	中２（８年）	中３（９年）

取組・活動 ＜大原野学園共通項目＞

■道徳の時間

- 模擬授業，事前授業で指導過程・発問を練る
- 学びを深める板書の工夫
- 挿絵や写真，動画等の効果的な活用
- 自分の考えをまとめ，深めるとともに，ふりかえりや自己評価ができるワークシートの工夫
- 自作教材の開発

■他の教育活動と道徳教育との関連

- 別葉を作成し，道徳の授業を中心とした他教科や行事との関連を整理する
- 全校人権集会
- 人権教育と関連して，３校合同の「人権標語」に取り組み，人権を大切にしようとする態度を育てる。
- 人権目標を設定し，人権集会で中間報告や振り返りの発表を行う。

＜大原野小学校の取組＞

■道徳の時間

- 毎時間のねらいに繋がる「めあて」の確認を板書で明確に提示
学習の積み重ねがわかるように「第○回道徳」と板書で示す
- 役割演技や心のバロメーター・心レベルなどの，価値について話し合うための手立ての工夫
- 地域教材の開発

■他の教育活動と道徳教育との関連

- 友だちの良いところを見つけ，星型カードに書いて掲示する「きらきら見つけ」を全校で実施。
- 全学級の「きらきら見つけ」を全校児童や保護者のよく通る場所に掲示する「きらきらロード」。

＜上里小学校の取組＞

■道徳の時間

- 役割演技，児童ネームプレートの有効活用
- 「意見をつなげる」ことを意識した授業展開

■他の教育活動と道徳教育との関連

- 道徳科の授業で計画的にＣＳＳ（学級ソーシャルスキル）を行い，必要なソーシャルスキルを行う。
- 人権教育を基軸とした道徳科の授業を行う。

＜大原野中学校の取組＞

■道徳の時間

- 思考力・判断力・表現力をふまえた言語活動の場面設定
- 生徒の学習を深めるための効果的なグループ活動
- 視覚的要素を含んだ教材の工夫
- 地域教材の活用(平成 30 年度に作成した教材を改良していく)

■他の教育活動と道徳教育との関連

- カリキュラム・マネジメントを活用した、好循環な道徳教育と特別活動の充実

基本的生活習慣，社会生活上のきまりを身につけ，正しく行動しようとする態度を育てる。

約束や社会のきまりを守り，みんなと協力し合う態度を育てる。

法やきまりを守り，相手の立場を理解し支え合う態度を育てる。

基本的な生活習慣を身につけ，集団の一員としての役割と責任を自覚し，自身で考え・行動することのできる生徒の育成を目指す。
他者を思いやることができ，尊重・理解しようとする生徒の育成を目指す。

児童会・生徒会活動を軸とした取組・活動

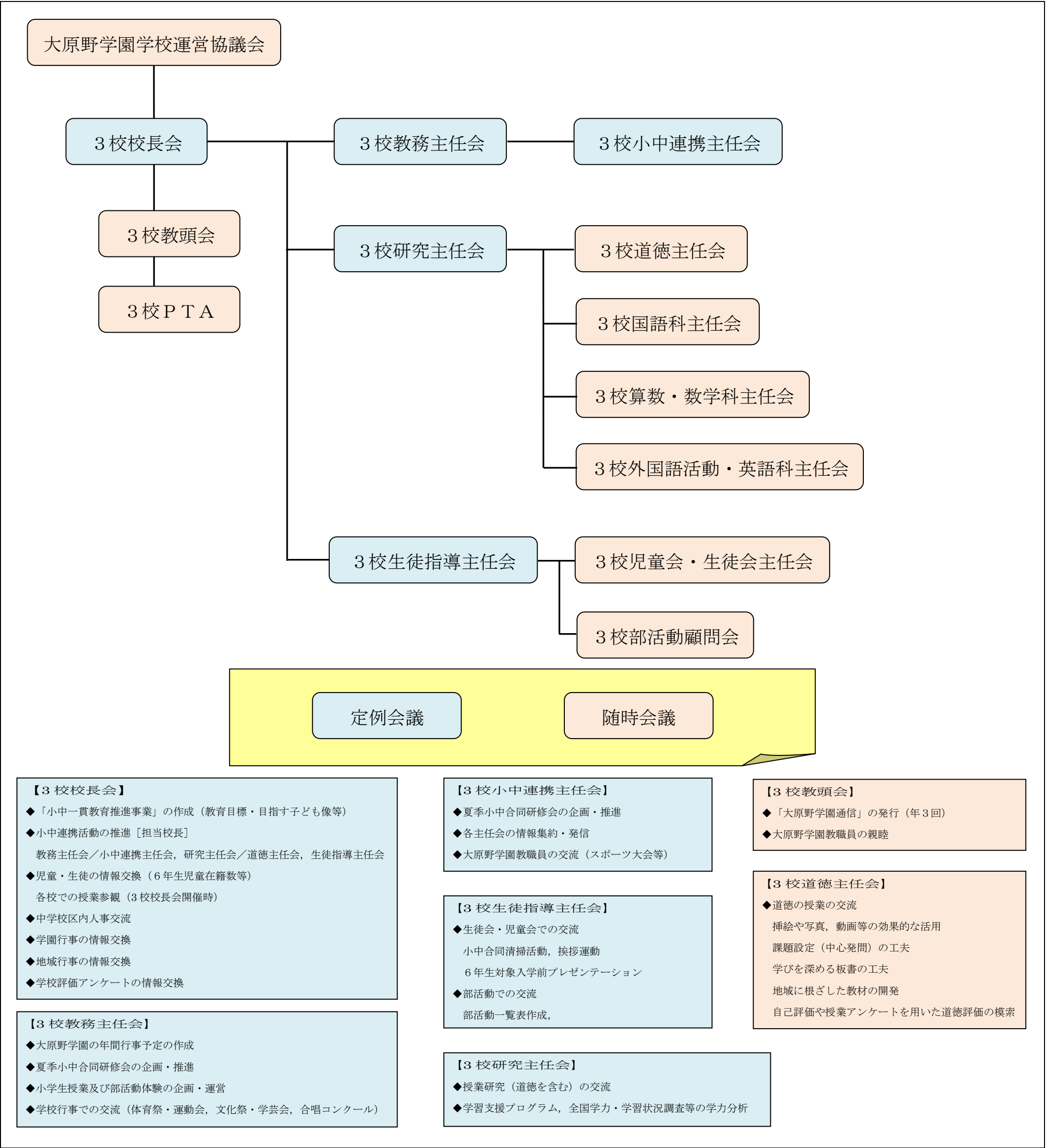
義務教育卒業時につけたい力								
・学校集団の一員としての自覚を高め，自主的・社会的な生活態度を身につけ，共に力を合わせて活動する。 ・縦割りによる集団活動を通して，協力し，互いに認め合う。 ・地域貢献活動に積極的に取り組み，地域で活躍する。								
学年または学年区分ごとにめざす姿				・自発的・自治的に学校生活に関する諸問題を話し合い，その解決を図る子 ・児童主体で異学年交流・縦割りの活動内容が計画できる子		・各委員会との連携，協力をはかり，生徒会活動を活発にする生徒 ・ボランティア活動を推進する生徒		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動　＜大原野小学校の取組＞ ○1年生を迎える会　○運動会〔スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会〕 ○6年生を送る会　○児童会の目標決め　○児童朝会〔委員会で1回ずつ担当〕 ○たて割り活動〔つながりタイム：月1回第3木曜日〕〔異学年交流：1－6，2－4，3－5〕 ○募金〔アルミ缶集め〕　○あいさつ運動						＜大原野中学校の取組＞ ○新入生を迎える会（4月） ○生徒総会(6月) ○リーダー研修会（8月） ○生徒会選挙（11月） ○3年生を送る会（3月） ○生活確立運動 ○挨拶運動 ○リサイクル活動		
＜上里小学校の取組＞ ○1年生を迎える会（1H）　○運動会〔スローガン決定・始め終わりのあいさつ・司会〕 ○6年生を送る会　○児童朝会（毎月1回），○たてわり交流会　○全校オリエンテーリング ○ハローウィーク（あいさつ運動）								
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○児童会・生徒会交流会（小中つながり会議） ○大原野中学生徒会と各小学校児童と校区の地域清掃（小中つながりクリーンデー） ○大原野中学生徒会が各小学校へ出向き，6年生を対象に学校紹介								

学びの約束・ルール

項　目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方	「相手に伝わるように工夫しよう」という気持ちを大事にする ＜話す内容の順序＞ ①いつ　②どこで　③だれが　④何を　⑤どうした　⑥どうだった ・声の大きさと速さに気をつけて話す ・聞き手を見て話す						「生徒同士による協働的な学び（グループ学習）」を導入する。 【言語活動力向上実践計画】 ◆辞書の積極的活用，文章や言葉で表現する機会の設定し，自分で使いこなせる語彙を増やし，表現力を養う。 ◆教科書の内容に即して，語句の意味を理解する力，文章の内容を読みとる力をつける。 ◆グループ学習やスピーチ，作文などを通して言語活動の充実を図る。 ◆作文や習字など，各種コンクールに積極的に参加する。 【グループ学習の意義・必要性】 ◇課題解決達成のための方法（手順・手法）等の情報を交換しながら共有できる（情報交換の場） ◇課題解決に向かってグループ内相互に啓発・奨励しながら学習できる（啓発・奨励の場） ◇グループ内での相互作用によって学習の継続が促進される（継続促進の場） ◇学習の成果を相互に承認することができる（相互承認の場） ◇学習の仲間意識が生まれ，居場所が確保され，所属の欲求が満たされる（所属の場） ◇学習の成果を仲間とともに自己表現できる（自己実現の場）		
発表のルール		最初の発表 わたしは，～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。							
		同じ意見の発表 わたしは，〇〇さんと同じで，～だと思います。							
		追加・補足の意見の発表 わたしは，〇〇さんにつけたして，～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。							
		異なる意見の発表 わたしは，〇〇さんとはちがって，～だと思います。 そのりゆうは，・・・だからです。							

小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

○年度当初に，大原野学園の年間行事予定表を作成・配布する。
○年3回（7月・12月・3月），「大原野学園通信」を保護者・地域に発行し，大原野学園の活動・取組を発信する。
◎大原野学園（大原野中学校・大原野小学校・上里小学校）の学校運営協議会として発足。
△「学校評価アンケート」における統一項目を検討・実施し，その結果を分析する。

※ ○→H28年度より実施 ◎→R元年度より実施 △→R元年度に計画・立案